

東区歴史浪漫プロジェクトフォーラム

～ 古代越後のロマンを求めて ～

先着280名
観覧無料

日時

12月17日(土)

午後2時～4時30分(開場:午後1時30分)

会場

東区プラザホール

内容

第1部

■基調講演

「牡丹山諏訪神社古墳の
三次調査の成果」

講師 橋本博文(新潟大学人文学部教授)

第2部

■パネルディスカッション

「東区の歴史浪漫と未来を語る」

■パネリスト

橋本博文(新潟大学人文学部教授)

長島栄一(仙台市教育委員会文化財課長)

小林昌二(新潟市歴史博物館館長)

申し込み

11月24日(木)～12月11日(日)まで

市役所コールセンター ☎ 025-243-4894 (午前8時～午後9時)へお申し込みください

パネリストプロフィール



橋本博文
(新潟大学人文学部教授)

群馬県太田市出身。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程修了。今は新潟大学旭町学術資料展示館の館長をつとめる。古墳時代の埴輪・首長墓・社会・豪族居館を幅広い視点で研究している。



長島栄一
(仙台市教育委員会文化財課長)

宮城県仙台市出身。東北学院大学文学部史学科卒。縄文集落・弥生水田・古墳・官衙・寺院・近世大名墓の発掘調査に携わる。現場の監督として、信頼なくして調査なしが信条。今は宮城県文化財保護審議会委員と宮城県考古学会幹事長をつとめる。



小林昌二
(新潟市歴史博物館館長)

木戸小・東新潟中卒。京都大で日本の古代史を学び、主に日本古代の村落史を研究し、愛媛大・新潟大、帝京大で教鞭をとる。今は新潟市歴史博物館の館長をつとめ、淳足柵を探索している。



牡丹山諏訪神社古墳

平成26年に東区の牡丹山諏訪神社で発掘調査を行った結果、5世紀前半には直径約30mの円墳があったことが明らかになりました。淳足柵の200年以上前から大和政権に繋がる豪族が存在した可能性が高まっています。

◀ マスコットキャラクター「ぼたんつば」 ▶

淳足柵(ぬたりのき)

大化3年(647年)に大和政権が蝦夷に備え造ったとされる城柵で、現在の東区にあったとする説が有力です。防衛機能と都から遠く離れた地方を治める行政機能を備えていたと考えられています。

◀ マスコットキャラクター「ぬたりん」 ▶



アクセスマップ



- ### バス
- 路線バス
 - 大形線「下木戸」下車
 - 牡丹山線北高校前系統「下木戸」下車
(北高校方面のみ。万代シティ方面は停車しません。)
 - 東区バス
 - 松崎ルート、紫竹・江南ルート「東区役所」下車
 - 河渡ルート「下木戸」下車

